

沖縄三線文化継承プロジェクトが「This is MECENAT 2026」に認定

ー2年連続の認定。「三線サウンドホイール」の構築に挑戦ー

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、当社が参画する「沖縄三線文化継承プロジェクトー技術貢献と共創ー」（以下、当プロジェクト）が、公益社団法人企業メセナ協議会が定めるメセナ活動「This is MECENAT 2026」に認定されたことをお知らせいたします。



<This is MECENAT について>

「This is MECENAT」は、企業などが取り組むメセナ（芸術文化振興による心豊かな社会づくり）活動を有識者による審査を経て認定する制度です。2014 年に開始され、全国各地で展開される多様なメセナ活動の社会的意義を広く示すことを目的としています。認定活動には「メセナマーク」が付与され、専用サイトに掲載されます。

<当プロジェクトの概要>

当プロジェクトは沖縄県三線製作事業協同組合（三線組合）が中心となり、琉球大学、沖縄県立芸術大学、当社が参画する共同研究プロジェクトです。三線に関する課題を解決し、文化を継承することを目的に、材料、楽器のふるまい、技能、感性、表現など多角的なテーマに取り組んでいます。当社は長年かけて培ってきた「モノ（楽器）」と「ヒト（感性）」の研究に関する技術・知見を活用し、楽器と感性研究のプランニングおよび技術提供の立場で参画しています。

<当社が沖縄三線の文化継承に取り組む背景>

沖縄を象徴する伝統楽器・三線は、現在、さまざまな課題に直面しています。例えば、沖縄の職人の手で作られた三線と、流通の多数を占める海外製三線との棲み分け、職人の後継者不足、材料である黒檀の枯渇などが挙げられます。こうした現状に危機感を抱いた三線組合が中心となり、科学的な視点で三線の特性をひも解く当プロジェクトが始動しました。当社はこの取り組みに賛同し、2023 年より参画しています。当社にとっても新たな挑戦であり、技術を生かして文化の継承・発展に貢献する重要な取り組みと位置づけています。

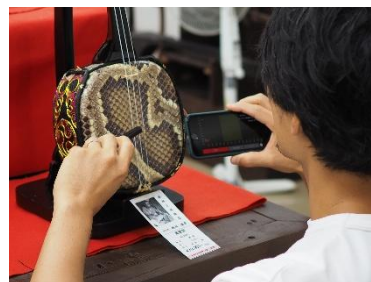
<2026 年度の活動計画>

1. 音色の表現語調査とサウンドホイールの構築トライアル

三線の音色に関する表現語の収集・整理と、それを一覧化するサウンドホイール（円状のチャートにまとめたもの）の構築トライアルに取り組みます。沖縄固有の語彙や感性を含む音色表現を収集し、演奏家と製作家をつなぐコミュニケーションツールとしてまとめることを目指します。

2. 楽器としてのふるまいの職人調査・分析と簡易計測手法の技術移管

これまでの研究成果を踏まえ、職人ごとの特徴の可視化と議論のきっかけづくりを進めます。客観的な数値データを通して、職人の感覚や技術について語り合う場をつくるのが、繊細な技能の伝承につながると考えています。また定常的にデータを計測・蓄積する方法を検討し、沖縄への技術移管を推進します。



<2025 年度の主な実績>

1. 三線の皮の張り加減の数値化

職人の熟練した感覚に依存してきた「皮の張り加減」について、振動解析による可視化を試みました。沖縄と東京の環境の違いによる変化を分析するとともに、アプリケーションを活用した簡易的な計測のトライアルを実施しました。

2. 新素材でのパーツ「カラクイ」製作の試み

材料枯渇への対応と、製作技能の継承を見据え、当社の技術を活用した新素材による三線パーツ「カラクイ（糸巻）」の製作トライアルを行いました。検証すべき観点を洗い出し、素材の調整をしながら、持続可能な選択肢の可能性を探っています。

3. レクチャーコンサート開催

プロジェクトの取り組みや三線とそれを取りまく文化の魅力を伝えるため、レクチャーコンサート「しまの音—研究と演奏でひもとく、三線の未来—」を銀座ヤマハホールで開催しました。講演と実演を組み合わせた構成により、来場者から取り組みへの共感・応援と、今後の活動へ期待が寄せられました。



当社は今後も、社会・文化の持続的な発展に向けてさまざまな活動に取り組んでまいります。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：鈴木 淳 TEL. 053-460-2210

ウェブサイト <https://www.yamaha.com/ja/contact-us/>（取材申し込みや広報資料請求が可能です）
